

新型コロナウイルス感染症に関する子どもの居場所・学校支援の現状報告

社会福祉法人グリーンコープ
一般社団法人グリーンコープ共同体

グリーンコープは5年前の2015年から食事を摂ることも困難な子どもたちに、子どもの居場所団体や小・中学校とグリーンコープの地域の組合員とが連携して、食材や食糧の支援を続けています。支援の財源は、毎月、組合員から寄贈いただいている福祉活動組合員基金（100円基金）の一部と抱樸館を支える会の賛助会費の一部を子どもたちのために大切にに使わせていただいています。

3月中旬以降は、新型コロナウイルスの影響を受けて学校も休校となり、遊ぶ場所も閉ざされ、食事にも満足に摂れない子どもたちが増え続けています。

子どもの居場所団体の皆さんが食堂を開くことが出来ず、小・中学校では朝食支援（朝、学校でグリーンコープのパンやびん牛乳を提供）ができないことから、4月21日以降は、グリーンコープの食材や食品を子どもたちに渡していただける子どもの居場所団体や学校関係と連絡を取り合い、フードサポートの食品の希望を募り、何かお手伝いできることはないかとお声かけをしてきました。

5月7日現在までに、子どもの居場所14団体、小学校3校、福津市、佐賀市1団体、広島市1団体の計20ヶ所にご希望のあったグリーンコープの食品をお届けしています。

今現在も、子どもの居場所の殆どが「5月いっぱいまでは、毎週、子どもたちに届けます」と言われていることから、希望に沿った食品の提供を継続しています。また、スクールソーシャルワーカーと連携して子どもの状況把握を行っています。

以下に、食品をお届けしたその後に子どもの居場所団体の代表の皆さんから届けられたお便りをご紹介します。

* * * * *
『福岡が大変な時に、ありがとうございます。学校が休校になり、毎日5～6名の子ども達が朝からやってきます。両親がいない子ども、父子家庭の子ども、夜の仕事を昼間睡眠をとっておられた家庭の子ども達です。朝昼晩3食なので、食材はとっくに底をついていますが、みんな辛抱の時なんだと、1汁1菜でワイワイやっています。お母さんがコロナの影響で最近夜の仕事を辞められ、食事の手伝いに来てくれるようになり、助かっています。親子で食事をし、お風呂に入って帰っていかれます。両親のいない家庭の子どもは、未成年後見人さんが同居しているにも関わらず、お風呂に入らないことが多かったようで、洗濯もしていませんでした。その子に、事務所の建物にあるお風呂に入って帰ることを勧

めたのがきっかけです。食材が増えるかも、と話しましたら大喜び。少し豊かな食事になりますが、まだまだ当分は切り詰めていかねば。いろんな事を見直すいい機会にもなっております。ありがとうございます。』

【熊本県 子どもの居場所】

『食材の提供について、早速ありがとうございます。「子どもの食と居場所」の状況がこれほど深刻になったことは未だかつてなかったことだと思います。この国の福祉のありようが、あぶりだされていますが、その中で「子ども食堂と居場所づくり」すらも、自粛せざるを得ないことにもどかしさと歯がゆさを感じていました。ご準備いただいた緊急食材、確かに受け取りました。早速仕分けし、校区の主任児童委員さんを介して、本当に必要としている家庭10軒に配布させていただきました。とても喜ばれています。ありがとうございました。学校の休校期間が長引くにつれ、子どもと親の疲弊はより深刻になっています。食料品を配布している子どもたちの飢餓感には、想像を超えるものがあります。他方、学校をつかさどる行政機関は機能マヒ状態となっていて、子どもたちは社会全体からネグレクトされている感さえあります。この子らの飢餓感を少しでも軽くするために、食料品の配布を継続したいと思っています。「ミニ食堂」(〇〇食堂)を主宰している〇〇さん(20歳の女性)は、生保家庭での長女ですが、母と彼女の二人で、ずっと以前から、自前でおにぎりや味噌汁をその子らに提供してきています。子ども食堂の活動を通じて知り合ってから足掛け3年になりますが、公立高校中退後、私どもの勧めで通信高校に行きはじめ、何とか高卒の資格が取れるところまで頑張ってきています。その彼女の子どもの向き合い方に、私どもは多くのことを学んできました。昨年7月から私どものファミリーホームの養育補助者として彼女を雇用し、現在は週3~4回12~16時間程度主に子どもの学習と・遊びの相手をしてもらっています。私たちは、その時間小学生3人と中3の女子を本当にお任せしています。安心して任せられるほど、私たちにとって貴重な人材発掘をしたと思っています。』

【福岡県 子どもの居場所】

『新型コロナウイルスの状況がますます厳しくなっている中、温かいお心遣い、本当にありがとうございます。5月23日(土)に、提供していただける食品を配布することにしました。今まで来てくれた子どもたちの顔が見られるのを楽しみにしています。よろしく願いいたします。』

【福岡県 子どもの居場所】

『“子ども達は休校で食べるのは毎日です。休校が始まってすぐは祖母に子ども達を預けていましたが祖母にも負担がかかり今は預けることもできません。収入が減り食費が増えるので一回の子ども食堂の食事でも助かります。”また別の方は、“今まで子ども食堂とは本当に困っている人だけが利用するところと思って行ったことがなかったのですが、もう限界です。助けて下さい。”とおっしゃいました。コロナの影響で利用したことのない方がどんどん増えています。学校給食が再開されたとしても家庭の経済的ダメージはしばらく

く続くと思われます。その中で子ども食堂の新たな取り組みも考える時であり、そこでのグリーンコープさんのご支援を、身をもってありがたいと感じる日々です。』

【熊本県 子どもの居場所】

『週末を含む2月28日から休校となり、日を追うごとに子どもや親の様々な悩みが増えていきました。私たちは3月7日にテイクアウトの食事を用意し、同時にフードドライブを開催しました。その頃は、まだ子どもたちも「暇を持て余してしまう」、親は「留守番が心配」という声だけでした。1か月が経った3月28日には自粛要請が出され、その頃には休校により仕事を休まなくてはならないご家庭も多くあり、その事により減給、生活に影響が出ている方もいました。そして、子どものストレスもとても大きなものになっていたようです。子どもが食べ盛りで食事の回数も増えた為、お米の消費が増えご自身はお米を食べていないと言うひとり親のご家庭もありました。そのようなご家庭には、フードパントリーで頂いた食材を個別にお届けしたり、支援されている他団体様へ食材提供する活動を行いました。4月に入ると、企業様からの食材の提供のご支援が増えてきました。それは、給食、レストラン、ホテル、観光所の中止・自粛により農家や企業のフードロスが増えた事が要因です。当団体では、熊本県の子ども食堂72件の活動状況を電話リサーチし、提供元の企業へ結果を報告し商品を発送して頂きました。食材提供のご連絡をいただければ、食材を引取りに伺い、活動を行っている団体に分配して活用させて頂きました。この頃に行ったアンケートには、「食堂を再開してほしい」「配食があると助かる」「子どもの見守りをお願いしたい」「子どもの遊び場がほしい」などの声が聞かれ、「食費がかさむ」「ご飯を食べないので痩せた」「だらだらとお菓子を食べているので太った」「祖父母が疲弊してきている」という現状もありました。仕事が減り（酷くは雇止め）、食費と労力が増え親の負担は大きかったようです。そんな中、開催するフードパントリーはとても喜ばれました。4月中頃から毎週開催しましたが、一番反響が大きかったのがグリーンコープ商品のご提供時でした。子育て世帯の50世帯へ配布とし募集をすると、申し込み受付開始から数時間で受付終了となりました。グリーンコープの信頼が大きく、保存ができ、子どもでも簡単に食べる事ができる商品をご提供いただいたからです。今回のコロナウイルスは、災害とも言えますが、熊本地震の時と大きく違うのは、孤独になってしまうところです。震災時は、共に頑張ろう！と励ましあって密になっていましたが、今は密になってはいけない、孤独だった家庭が更に孤独になってしまいました。子どもが情緒不安定になったり、子どもを必要以上に叱ったり、大人も子どもも大きなストレスを抱えてしまいました。このような時にこそ、地域に根差している子ども食堂が寄り添った活動をしていくべきだと考えています。今後も状況を注視し、柔軟に対応して活動にあたりたいと思います。今後ともご協力ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。』

【熊本県 子どもの居場所】

『5月17日（日）、食材配布を行います。配布は3密を避け、公民館前広場で行います。対象者は、昨年度参加者38名と新規申込者です。配付状況については、ご報告いたします。よろしくお願ひいたします。』

【福岡県 子どもの居場所】

* * * * *

『本日（4月30日）、は子どもの居場所食堂にて10時から11時過ぎまで提供頂きましたノンカップ麺、ツナ缶を配らせていただきました。まさか、ノンカップ麺が一袋4つも入っているとは思っておらず、本当に個別の一袋だと思っていただけのため、思わず子供達も喜んだのではと思います。フェイスブックで告知しただけなので、本当に取りに来るかなと思っていましたが、天気も良く、親子連れや子供達で取りにくる子、その子たちにまだあるからお友達に知らせてあげてと連鎖させ、23個持って帰ってもらいました。今の心境を綴った手紙も入れて、いつかの再開を誓いました。お母さんと娘計4人で来た方は、お昼これにしようと思って来ましたとお話をされていました。いつもは賑わうビーチ前の宿泊施設も休業中でパーキングも閉鎖。人といえば、港近くでわかめを干すお母さん方がいるくらいでした。残りは7個です。来月のカレーと合わせて配るか、消費期限が先なので、ストックしてまた考えようかと思っております。初めての試みでしたが、お知恵を頂きましたお陰で久しぶりに子供達に会えました。また、今日気づいたのですが、来る人は全てマスク姿。お母さんは紫外線対策で帽子までかぶってお久しぶりですと言われても、こちらはだれか分からない場合が多かったです。来月以降もよろしく願いいたします。本日の商品ご提供、感謝しております。』

【島根県 子どもの居場所】

* * * * *

『先日、送っていただいた食材を小学校区のコミュニティセンターで無事に渡す事ができました。地域の子どもたちの笑顔が見られて安心しました。ありがとうございます。5月中旬に同じ中学校区内の小学校でも開催できたらと思っています。また、発注が間に合う食材がありましたら、どうぞ宜しくお願いします。』

【熊本県 子どもの居場所】

* * * * *

『“お菓子を食べて空腹をしのいでいる子もいる”、経済的にきびしい家庭では、ない話ではありません。学校が「食べていますか？」と心配して聞いても、「大丈夫です」と言われます。例えそれがお菓子でも言われます。

「食べている」というのが、人によってとらえ方が違うというのが、スクールソーシャルワーカーという仕事をしていてよくわかるようになりました。そんな家庭のプライドを傷つけないよう支援していき、心をほぐして「助けて」と言ってもらえるようにしたいと思います。もちろん、命に危険がある場合は別ですが…。スクールソーシャルワーカーが何か食べ物を渡して「やっぱりお菓子よりこっちがいいな」と思ってもらい、子どもが保護者に言うというのも効果的だと思います。最近、やっと国からも子どもたちの様子を確認するようという通達がきましたので、できることは増えると思います。緊急事態宣言が延長されるのであれば、他でしているように、お昼ごはんを提供するという事も実行できるようにしたいと思い、教育委員会と話しています。』

【スクールソーシャルワーカー】

* * * * *

『学校の子ども達を心配して、地域組合員が子ども達用のマスク170枚を作りました。先日、地域組合員が学校へ届けて参りました。校長より「子ども達のマスクも大変助かる」と、食料支援の事とも併せて何度もお礼を言われました。今後の状況が分からない為、とても心配されています。3月から朝食支援も出来ていない、と学校に来てない子ども達の食事への心配を募らせていました。校長より「グリーンコープ組合員の方々には、本当に感謝の気持ちしかありません。子どもたちを我が子のように想っていただけていることがとてもうれしいです。幸せな子どもたちです。私の子どもたちは・・・」でした』



【グリーンコープ生協ふくおか】

* * * * *

『「食材だけでなく食材を配布する際に使用する持ち帰り用の容器（弁当箱など）や包材についても支援を行えないでしょうか」と地域組合員からご連絡をいただき、子どもたちに食材を配布している子どもの居場所団体の代表者の方からは「ポリ袋は購入することにしていました。もしいただけるのであれば本当に有り難いです。助かります」とのことでしたので、子どもの居場所支援団体数か所にグリーンコープの透明ポリ袋を各200枚とお弁当容器200個をお届けしました。』

【グリーンコープ生協ふくおか】

以上

(参考資料 1)

4月21日～5月20日までの子どもの居場所・学校関係支援実績

- (1) 4月21日以降、食事も満足に摂ることができていない子どもたちに、食糧を渡していただける子どもの居場所や学校関係と連絡を取り合い、フードサポートの食品の希望を募って提供し続けています。
- (2) 5月20日(水)までに、子どもの居場所や学校関係、市役所など20ヶ所に以下グリーンコープの商品をお届けしています。
- (3) お米390kg、パックごはん580個、レトルトカレー650個、ノンカップ麺950個(3800食)、即席みそ汁やたまごスープ730個、ツナフレーク缶700個、お菓子・ジュース(物流センターロス品)5コンテナ分・・・等々、お届けしています。
- (4) 金額(仕入価)にして、この1ヶ月間で112万円となっていますが、財源は毎月、組合員の皆さんから寄贈いただいています福祉活動組合員基金(100円基金)の一部と抱樸館を支える会の賛助会費の一部を子どものたちのために大切にに使わせていただいています。

商 品	提供実績
国産混ぜこみごまふりかけ25g	297
コシヒカリパックごはん160g	443
日本のごはん480g(120g×4)	144
たまごスープ7g×5個	385
レトルトカレー(甘口)480g(160g×3)	445
すご腕カレー(中辛)200g	108
すご腕カレー(甘口)200g	87
やさしい味の甘口カレー320g(160g×2)	218
即席みそ汁わかめ入り120g(20g×6)	137
フリーズドライみそ汁大地の贈り物55g(10.1g×5)	210
ノンカップ麺しおやさい味314g(78.5g×4)	752
ノンカップ麺ねぎ入りしょうゆ味314g(78.5g×4)	204
ざるうどん300g(100g×3)	12
プチはるさめ80g(10個入)	151
スパゲッティ500g	125
スパゲッティ1500g(500g×3)	29
元気な卵のマヨネーズ500g	12
洋風だし(チキン味)60g(6g×10)	9

商 品	提供実績
ホールトマト缶(長野県産) 425g	54
トマトケチャップ(有機アメリカ産トマト使用) 380g	21
ツナフレーク(野菜スープ調理) 70g	702
令和元年産 宮城県産ひとめぼれ玄米 30000g(寄贈商品)	3
2019年産 熊本県産やまだわら玄米 30000g	10
5色ビーンズ 300g(冷凍)	18
北海道の野菜ミックス 250g(冷凍)	21
九州産野菜ミックス300g(冷凍)	12
九州産汁物ミックス200g(冷凍)	30
北海道産ダイスポテト 500g	24

(参考資料2)

グリーンコープの子どもの居場所支援先

- ・グリーンコープが直接運営する子どもの居場所(3カ所)

1	日明けんきもりもりハウス	北九州市
2	片縄げんきもりもりハウス	那珂川市
3	名島げんきもりもりハウス	福岡市東区

- ・グリーンコープが運営に参加する子どもの居場所(1カ所)

1	福岡市東区
---	-------

- ・グリーンコープが支援する地域の子どもの居場所(32カ所)

1	福岡県大野城市	NPO法人
2	福岡県北九州市	NPO法人
3	福岡県粕屋郡	任意団体
4	福岡県大牟田市	任意団体
5	福岡県遠賀郡	NPO法人
6	福岡県久留米市	NPO法人
7	福岡県福岡市	任意団体
8	福岡県福岡市	NPO法人
9	福岡県八女市	任意団体
10	福岡県八女市	任意団体
11	福岡県大川市	任意団体
12	福岡県福岡市	校区社協
13	福岡県大牟田市	行政

14	福岡県糟屋郡	NPO法人
15	福岡県福岡市	自治組織
16	福岡市早良区	任意団体
17	福岡県筑後市	任意団体
18	福岡県筑後市	住民自治組織
19	福岡県北九州市	社会福祉法人
20	福岡県大牟田市	任意団体
21	福岡県朝倉市	任意団体
22	福岡県朝倉市	NPO法人
23	福岡県朝倉市	任意団体
24	福岡県朝倉市	任意団体
25	福岡県小郡市	任意団体
26	熊本県熊本市	任意団体
27	熊本県山鹿市	任意団体
28	熊本県玉名市	任意団体
29	熊本県熊本市	一般社団法人
30	熊本県天草市	任意団体
31	島根県浜田市	任意団体
32	鹿児島県鹿児島市	一般社団法人

・グリーンコープが朝食支援する小・中学校（11ヶ所）

1	〇〇中学校	福岡県福岡市
2	〇〇小学校	福岡県福岡市
3	〇〇中学校	福岡県福岡市
4	〇〇中学校	福岡県福岡市
5	〇〇小学校	福岡県福岡市
6	〇〇中学校	福岡県宮若市
7	〇〇小学校	福岡県福岡市
8	〇〇小学校	福岡県北九州市
9	〇〇中学校	福岡県福岡市
10	〇〇小学校	福岡県福岡市
11	〇〇小学校	福岡県福岡市